

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎県川南遊学の森
指定管理者	公益社団法人宮崎県緑化推進機構
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部環境森林課

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
主催事業参加者数	327	278	199	・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で講座を4回中止することとなり、主催事業参加者は例年より少なくなったが、感染防止対策の徹底や講座の延期対応により、令和3、4年度は増加している。 ・令和3年度の自主研修等利用者数の大幅な減少は、緊急事態宣言や緊急警報の発令によって、施設の利用制限を行ったことや、学校等による利用申請が減少したことによるもの。
自主研修等利用者数	101	55	113	
合計(単位:人)	428	333	312	
コメント	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、令和4年度は感染防止対策の徹底や主催事業の積極的な広報により利用者数も増加した。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	6,962	6,962	6,681	人件費	3,651	2,485	3,197
				光熱水費	77	70	76
				委託料	1,410	2,651	1,321
				諸資機材費	301	300	292
				保険料	85	82	79
				旅費等	117	77	36
				報償費	299	203	141
				印刷製本費	68	123	68
				広告・通信費	488	477	499
				諸経費(消費税等)	132	474	199
				消耗品等	238	139	58
				使用料及び賃借料	96	84	75
				修繕費	0	52	675
合計(①)	6,962	6,962	6,681	合計(②)	6,962	7,217	6,716
収支差額(①-②)	0	-255	-35				
コメント	事業計画書に基づき、適正に管理運営が行われている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	・バイオトイレ、展望台、あずま屋、炭焼き体験施設、野鳥観察施設、管理車道、林間歩道、案内板、ベンチ
	保守・点検	・日常点検業務及び専門的な保守点検並びに必要なに応じ緊急点検
	警備	・業務中巡回(夜間なし)
	修繕	・安全又は管理運営上必要な施設(年1回) ・県が必要と認める施設等(随時)
	備品等管理	・整備台帳、管理台帳 ・経理帳簿
	安全対策	・安全管理点検、救急用品整備(イベント時)
	その他	・下草刈り(活動フィールド年1回、植栽地2回)
企画運営業務	サービス提供体制整備	・施設及び自然体験講座開催の新聞等による広報活動やパンフレット作成・配布、動画によるPR、参加者満足度調査、ボランティアフィールドとしての活用
	イベント等ソフト面充実	・自然体験講座開催(年12回・323人)、使用料等は徴収していない。
	施設設備等ハード面充実	・管理車道、林間歩道、バイオトイレ施設、炭焼き窯及び施設、展望台施設、あずま屋、野鳥観察施設
	その他	—
管理運営体制	情報公開及び個人情報保護規則整備	

コメント	協定書等に基づき、法令遵守の上、適正な管理が図られている。利用者満足度調査による評価も高い。台風14号による倒木の撤去やスズメバチの巣の駆除など、利用者の安全を確保するための対応ができています。
------	---

#### 4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(月1回)、施設内に意見箱を設置	
調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
バイオトイレの車椅子スロープの老朽化		腐食していた箇所を修繕した。(床板張替)
案内看板が分かりにくい。劣化により表示が見づらくなっている。		誘導看板全8基の補修、立て替えを行った。
展望台施設からの眺めが悪い		展望施設付近の樹木を除伐した。

#### 5 総合評価

評価コメント	施設内の運営管理は協定書に基づき適正に行われており、主催事業の利用者からの評価も高い。主催事業に初めて参加した人の参加のきっかけには、友人・知人からの紹介のほか、新聞広告や学校に配布したチラシによるものもあげられ、広報活動の成果が出ているといえる。
今後の課題と対応	自主研修等の利用者増を目的とした効果的な普及PR方法や要望の多いトイレの整備について対応を検討する必要がある。